

第35回ハンセン病医学夏期大学講座のご案内

実行委員長 石井 則久

(国立感染症研究所ハンセン病研究センター長)

ハンセン病はらい菌による慢性感染症であり、発症には感染者の免疫状態の関与も考えられております。わが国の新規発症患者数は医学、公衆衛生等の進歩により減少しました。

一方、世界保健機関（WHO）によると、2011年の年間新規患者数は約22万人であり、ハンセン病制圧にむけてわが国の積極的な国際的協力も求められています。

ハンセン病は早期発見、早期治療が行われると、後遺症を残さずに治癒する疾患であり、末梢神経障害をはじめとする後遺症の発症をくいとめることが可能です。

しかし、ハンセン病の早期発見と早期治療の必要性は、将来にわたって変わることなく、特に皮膚科、神経内科等の領域では、その重要性も決して失われていないと考えます。

ハンセン病の診療は、平成8年のらい予防法廃止以前は国立及び私立のハンセン病療養所で実施されておりましたが、現在は一般医療機関においても実施されており、ハンセン病の基礎医学や診断・治療など臨床医学の充実、以前にも増して求められています。

ここに、医療関係者及び医療系学生を対象に、ハンセン病に対する知識を一層深めていただくため、「第35回ハンセン病医学夏期大学講座」（別添「日程表」参照）を開催することといたしました。

本講座にご参加くださいますよう、心からお待ちしております。

記

1. 主催 公益財団法人 日本科学技術振興財団、ハンセン病医学夏期大学講座実行委員会
2. 期間 平成25年 8月 5日(月)～ 8月 9日(金)
3. 受講対象者 医学・歯学・薬学・看護・医療福祉・医療技術を学ぶ学生
医師、歯科医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、その他の医療関係者
4. 受講コース 総合コース【15名程度】
ハンセン病・国際協力の講義、基礎医学講義・実習、外来診療見学、
多磨全生園入所者との交流会、多磨全生園見学、ハンセン病資料館見学
看護・福祉コース【15名程度】
ハンセン病・国際協力の講義、不自由者棟・病棟での実習、
多磨全生園入所者との交流会、多磨全生園見学、ハンセン病資料館見学
国際医療コース【20名程度】
ハンセン病・国際協力の講義、多磨全生園入所者との交流会、多磨全生園見学、
ハンセン病資料館見学
※国際医療コースは、8/5(月)～8/7(水)の3日間
5. 場所 国立療養所多磨全生園及び国立感染症研究所ハンセン病研究センター
(東京都東村山市青葉町)
※最寄駅 西武池袋線清瀬駅、西武新宿線久米川駅、JR武蔵野線新秋津駅
6. 経費 受講料：無料 ※宿泊施設有(若干)：寝具代のみ自己負担
7. 申込期限 平成25年 6月21日(金)
※ただし、申込みが定員を超えた場合には、お断りする場合があります。
8. 申込要領 別紙申込書に所要事項を記入し、下記の申込先へ送付してください。
(申込後受講を取り止める場合は、速やかにご連絡ください。)

照会・申込先

国立感染症研究所ハンセン病研究センター庶務課

〒189-0002 東京都東村山市青葉町4-2-1

Tel 042-391-8211・Fax 042-394-9092

e-mail:kakidai@nih.go.jp

URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/open-campus.html>

第35回 ハンセン病医学夏期大学講座日程表 (案)

平成25年(2013年)8月5～9日

8月5日 (月)	9:20-10:00 オリエンテーション 開講式/記念撮影	10:00-10:50 ハンセン病と人権 (平沢保治)	11:00-12:00 ハンセン病概論 (石井則久)	13:00-13:50 ハンセン病の歴史 (森 修一)	14:00-15:10 ハンセン病の臨床 (野上玲子)	17:30- 懇談会
8月6日 (火)	9:00-9:50 末梢神経障害 (岸田日帯)	10:00-11:10 ハンセン病と国際協力 (スマナ・ハルア)	11:20-12:10 国際協力の実際 (畑野研太郎)	13:00-16:00 国立ハンセン病資料館見学 (佐川 修)		16:00-17:00 園内見学 (宇野公男)
8月7日 (水)	選択:総合コース、国際医療コース(ハンセン病研究センター) 9:00-10:00 抗酸菌とハンセン病(山口さやか) 10:10-11:00 眼科(岡野美子) 11:10-12:00 基礎医学概論(牧野正彦)			選択:総合コース、国際医療コース(ハンセン病研究センター) 13:10-14:00 病理と病型(後藤正道) 14:10-15:00 菌体抗原と抗体(宮本友司) 15:10-16:00 分子生物学の基礎(向井 徹) 16:10-17:00 ハンセン病の治療薬(磯同政一)		
	選択:看護・福祉コース、国際医療コース(事務本館) 9:00-9:20 多摩全生園 看護部概況(木村あつ子) 9:30-11:00 ハンセン病の看護(浅野和子) 11:10-12:00 摂食・嚥下障害(寺嶋総美・高山浩子)			選択:看護・福祉コース、国際医療コース(事務本館) 13:00-14:00 ハンセン病後遺症を有する方へのリハビリテーション(砂原直子・後藤直生) 14:10-15:00 ハンセン病療養所におけるソーシャルワーク(住吉亮子) 15:10-16:10 施設内見学 16:20-17:00 オリエンテーション・実習		
8月8日 (木)	選択:総合コース(ハンセン病研究センター) 9:00-9:50 ハンセン病の分子疫学(松岡正典) 10:00-10:50 ゲノムと薬剤耐性(中田 登) 11:00-12:00 免疫学とワクチン(牧野正彦)			選択:総合コース(ハンセン病研究センター) 13:00-13:20 バイオセーフティとバイオセキュリティ(棚林 清) 13:20-17:00 実習(内訳欄外)		18:00- 自由討論
	選択:看護・福祉コース(全生園) 9:00-12:30 実習 ①不自由者棟 ②病棟			選択:看護・福祉コース(全生園) 13:30-17:00 実習 ①不自由者棟 ②病棟		
8月9日 (金)	選択:総合コース(全生園) 9:00-10:45 外来見学実習(小坂真紀)		11:30-12:00 閉講式			
	選択:看護・福祉コース(全生園) 9:00-10:45 病棟および不自由者棟見学実習		11:00-11:30 自由討論			

※カリキュラムの内容は変更になる場合があります。

実習内訳(総合コース)

- 1 らい菌DNAの増幅(PCR)(中田 登)
- 2 らい菌の染色法(鈴木幸一、石藤雄子)
- 3 治療薬の抗菌効果(福富康夫)
- 4 ハンセン病の血清診断法(甲斐雅規)
- 5 らい菌とシユワン細胞の相互作用の観察(前田百美)
- 6 リンパ球とマクロファージの免疫学的特徴解析(田村敏生)

第35回ハンセン病医学夏期大学講座参加申込書

下記の表に必要な事項を記入して、FAX・Eメール・郵送のいずれかにてお申し込み下さい。

住所 確実に連絡できる先を記入してください	〒	TEL			
		携帯			
	e-mail	FAX			
ふりがな 氏名		性別	男・女	年齢	歳
所属大学(学部)・医療関係機関等の名称		学年又は職名			

希望コース

1. 下記のコースについて、受講を希望するコースに○印を記入して下さい。
2. 総合コース、看護・福祉コースⅠ・Ⅱは火曜日までの講義を受講後、水曜日の午前から、それぞれのコースに分かれて実習、講義等を行います。(日程表参照)
3. 国際医療コースは、水曜日までの受講となります。
4. 都合によりご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承下さい。

希望(○印記入)	コース名	内 容 (予 定)
	総合コース	ハンセン病・国際協力の講義、基礎医学講義・実習、外来診療見学、多磨全生園入所者との交流会、多磨全生園見学、ハンセン病資料館見学
	看護・福祉コースⅠ	ハンセン病・国際協力の講義、不自由者棟での実習、多磨全生園入所者との交流会、多磨全生園見学、ハンセン病資料館見学
	看護・福祉コースⅡ	ハンセン病・国際協力の講義、病棟での実習、多磨全生園入所者との交流会、多磨全生園見学、ハンセン病資料館見学
	国際医療コース	ハンセン病・国際協力の講義、多磨全生園入所者との交流会、多磨全生園見学、ハンセン病資料館見学

宿泊希望について

1. 若干の宿泊施設が全生園内研修棟にあります。宿泊を希望される方は、下記の「宿泊希望」に○印を付すとともに宿泊希望日に○を付して下さい。(宿泊施設は相部屋で、食事及び石けん・シャンプー等は有りません。)
2. 宿泊施設は、人数が限られているため遠方の方を優先しますので、場合によってはお断りする場合があります。なお、遠方の受講者は前日の 8/4 (日)も宿泊が可能です。
3. 宿泊費用は、寝具代として1日1,000円(税込)です。
4. 宿泊施設の設備(風呂、トイレ、食事スペース(冷蔵庫有り)、ポット、電子レンジ等)は、共用となっています。インターネット回線はありません。

【 】宿泊希望(宿泊希望日 8/4、8/5、8/6、8/7、8/8)

〔 申込先 〕

国立感染症研究所ハンセン病研究センター 庶務課

〒189-0002東京都東村山市青葉町4-2-1

TEL 042-391-8211 FAX 042-394-9092 e-mail kakidai@nih.go.jp

----- 下記の欄には記入しないで下さい -----

受付担当者	受付年月日	確 認	登録番号	そ の 他

ハンセン病医学夏期大学講座 会場案内図

場所: 国立療養所多磨全生園 事務本館2階会議室
東村山市青葉町4-1-1

周辺地図

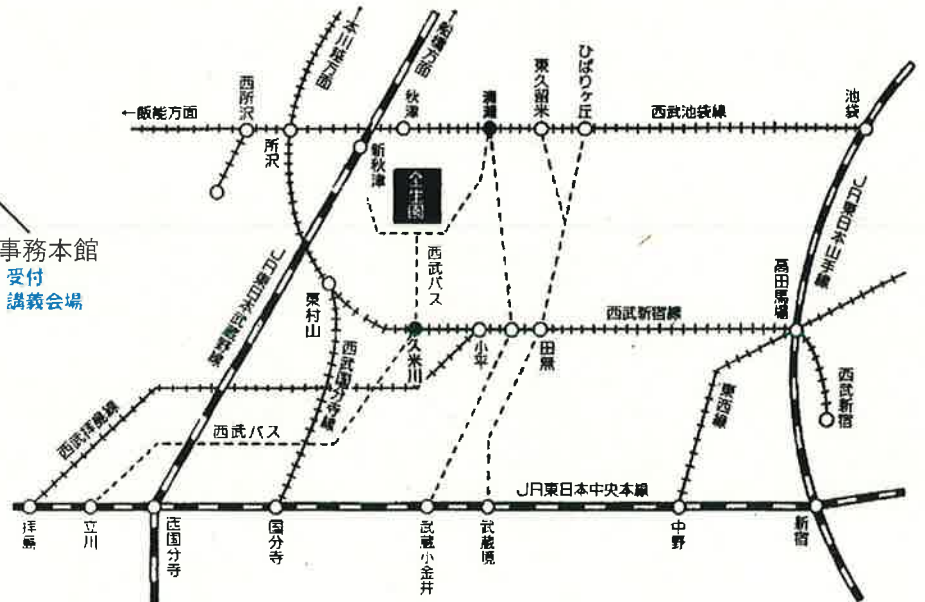


詳細

研修棟 (宿泊のみ)

事務本館
(受付・講義会場)

交通機関



- ・西武池袋線清瀬駅下車 南口より西武バス久米川駅行きにて全生園前下車(所要時間約15分)
- ・西武新宿線久米川駅下車 北口より西武バス清瀬駅行きまたは新秋津駅にて全生園前下車(所要時間約15分)
- ・JR武蔵野線新秋津駅下車 西武バス久米川駅行きにて全生園前下車(所要時間約10分)